

北海道PCB廃棄物処理施設設置工事(増設)について



日本環境安全事業株式会社
平成24年2月

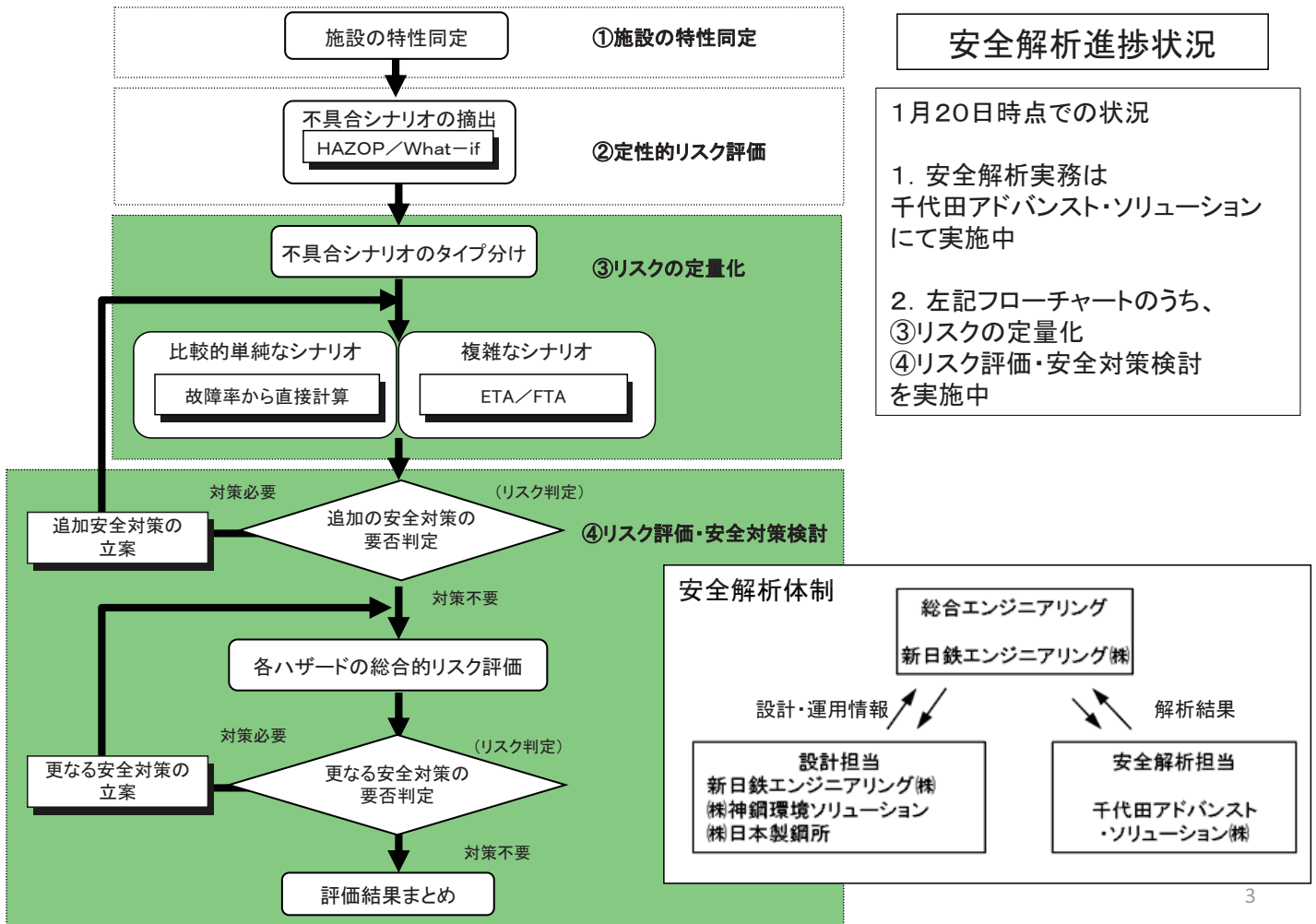
1

これまでの経緯

- 平成22年12月 2日 入札
- 平成22年12月 3日 設計業務契約締結
- 平成22年12月21日 広域協議会(第19回)
- 平成22年12月22日 監視円卓会議(第21回)
- 平成23年 3月11日 北海道事業部会
- 平成23年 3月28日 監視円卓会議(第22回)
- 平成23年 3月30日 事業報告会
- 平成23年 6月 7日 施工業務契約締結
- 平成23年 7月 1日 建築基準法 建築確認申請提出
- 平成23年 7月19日 監視円卓会議(第23回)
- 平成23年 7月25日 廃掃法 設置許可申請書提出
- 平成23年 8月 3日 広域協議会(第20回)
- 平成23年10月26日 監視円卓会議(第24回)
- 平成23年11月25日 廃掃法 設置許可証受領
- 平成23年12月 7日 起工式
- 平成23年12月 8日 現場工事 着工

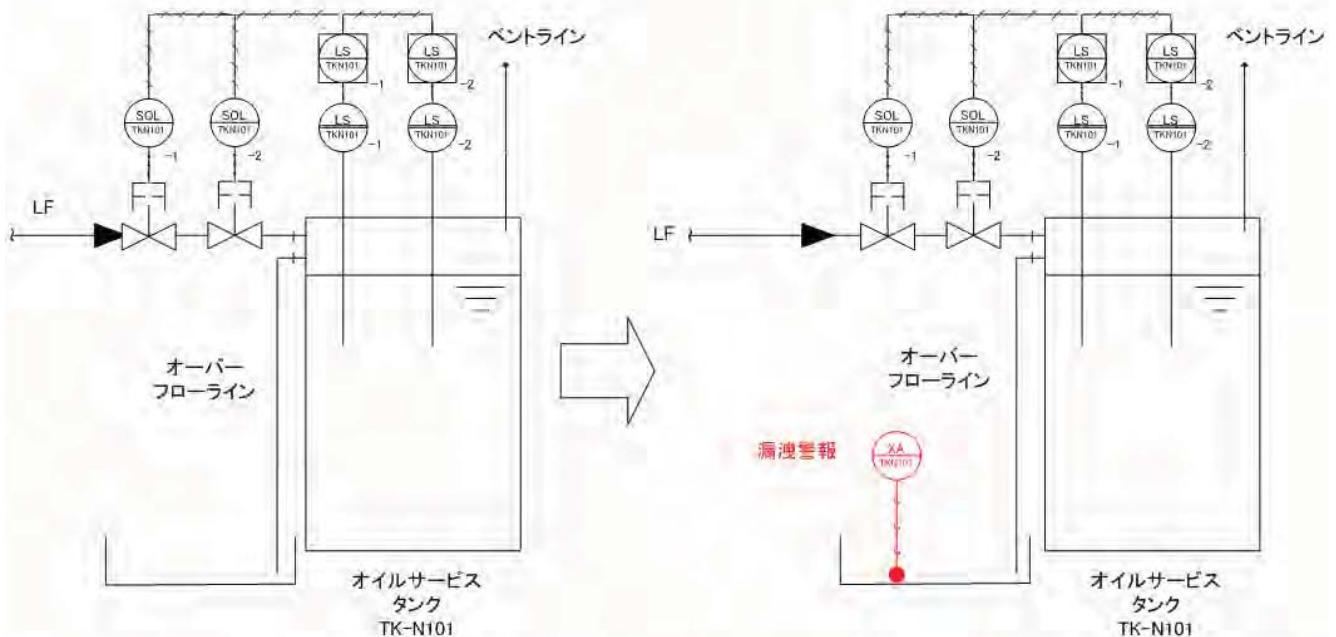
2

安全解析進捗状況①



安全解析進捗状況②(定量評価での改善例)

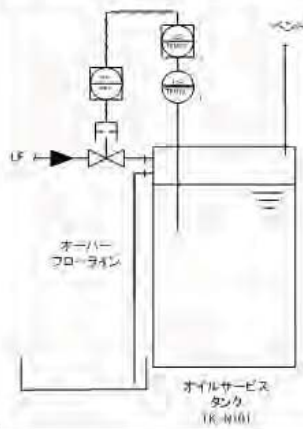
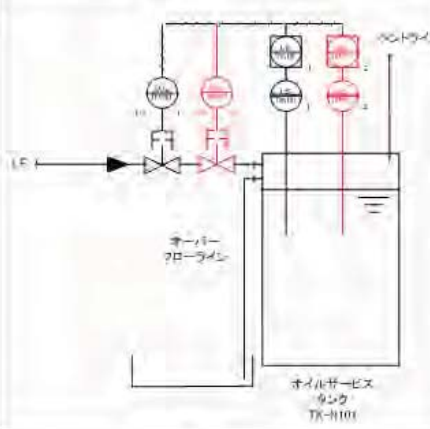
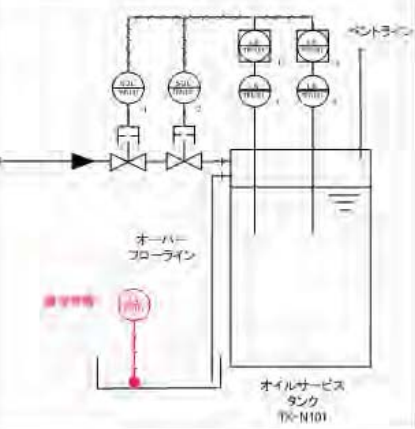
オイルパンにオーバーフローしたことを検知する漏洩検知を追加



[定性的リスク評価後の設計]

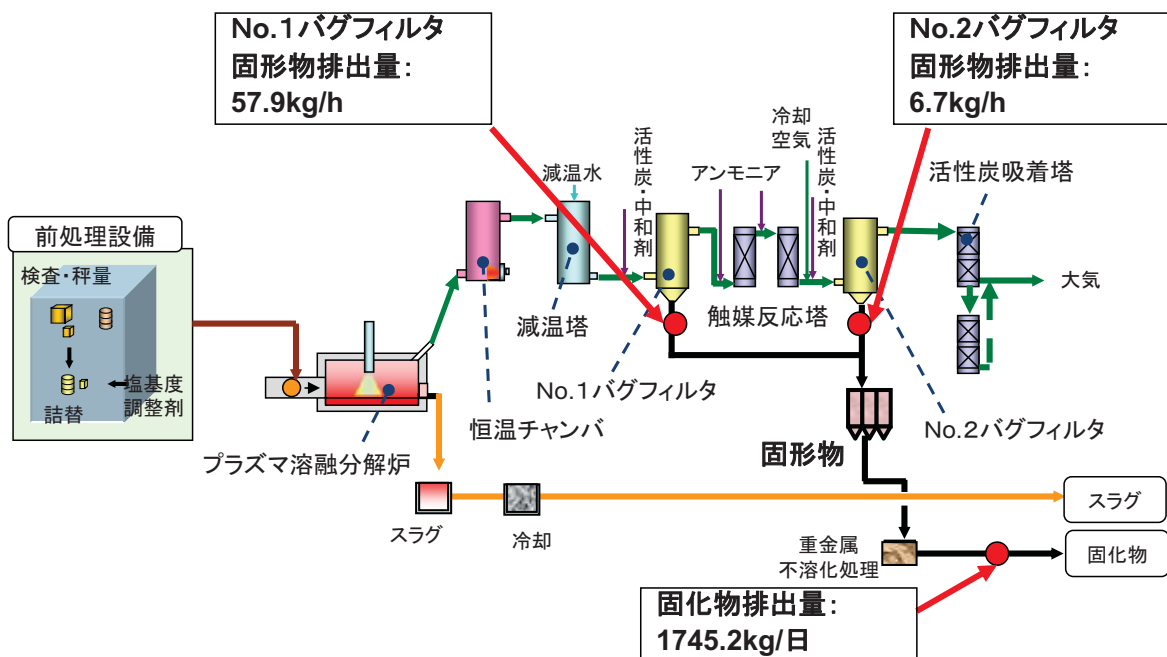
[定量的リスク評価後の設計]

安全解析進捗状況③(オイルタンク例での評価結果)

ハザード	火災・爆発		
No	1-10		
該当設備	換気空調設備		
不具合シナリオ	レベル制御不能による可燃油流出		
解析・改善内容	当初設計	定性的リスク評価後	定量的リスク評価後
			
タンクからの漏洩発生頻度	2.41 E-02回/年	2.84E-08回/年	2.84E-08回/年
床面への漏洩発生頻度	2.41 E-02回/年	2.84E-08回/年	8.93E-11回/年

バグフィルター-固形物排出量(1系列分)

固形物排出量 = 「排気中の固形分」 + 「排気中の酸性ガス反応生成物」
 + 「未反応中和剤」 + 「活性炭」



スラグ・固形物払出

1. 北九州事業の事例

	払出先	処理施設	処理フロー
溶融スラグ 	他県製鋼会社	電気炉(融解)	容器切断→破碎→ 電気炉→スラグ・金属分別回収
固形物 	県内精錬会社	溶鋳炉	脱塩素→粉碎→溶鋳炉→ 揮発金属・銅マット・スラグ回収

※ 固形物・・・払出先の受入基準に準拠してPCB濃度その他、水銀のみ分析管理

2. 北海道増設事業での検討

課題:

溶融スラグ・・・鉄分が多く、塊が大きい。

大塊破碎・金属分別設備を有する業者が少ない

固形物・・・・・・リサイクル対応業者が少ない



近隣地域で対応
可能な業者選定

7

施工進捗状況

着工前

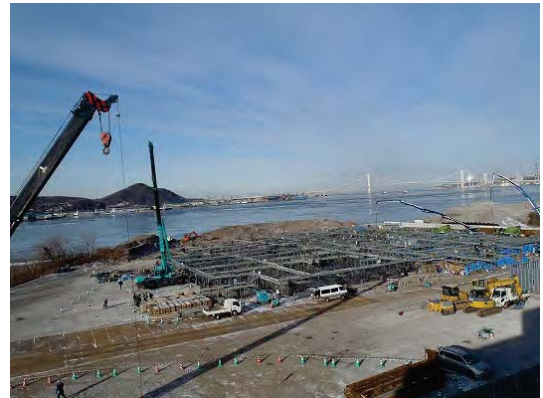


12月中旬(着工直後)

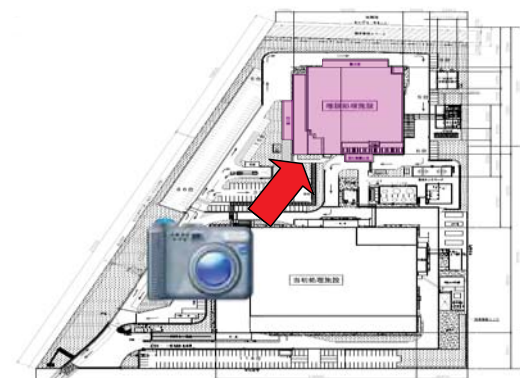


(杭打工事)

1月末



(基礎工事)



8

全体工程表

項目	平成23年	平成24年	平成25年	
主要マイルストーン	12/8 ▼ 建築工事着工	▼ プラント工事着工	▼ 受電	▼ 試運転開始
設計	[Green bar spanning from start of 2023 to start of 2024]			
建築工事		杭・基礎・土間工事 [Yellow bar] 鉄骨工事 [Yellow bar] デッキコンクリート・機械基礎工事 [Yellow bar] 屋根工事 [Yellow bar] 防水・内装工事 [Yellow bar]		
外構工事	外構整地・路盤・フェンス工事 [Grey bar]		雨水排水・舗装工事 [Grey bar]	
プラント工事		機器据付工事 [Green bar] 配管・保温・塗装・電気計装工事 [Green bar]		
試運転			[Orange bar]	